

## 2013 年度 小委員会活動成果報告

(2014 年 2 月 27 日作成)

小委員会名	プロパティマネジメント小委員会	主 査 名：関栄二 就任年月：2012 年 4 月
所属本委員会 (所属運営委員会)	建築社会システム委員会	委員長名：石坂公一 主 査 名：
設 置 期 間	2012 年 4 月 ～ 2014 年 3 月	
設 置 目 的 各年度活動計画 (箇条書き)	<p>・本小委員会では、建築におけるプロパティマネジメントを総合的に検討することから、ストック時代に対応した建築学のあり方、学問・教育の再編の方向を示唆することを目的としている。</p> <p>・ストック時代に対応するための建築学と、建築ストックを法律・経済・工学から総合化してきた不動産学との新たなシステムの統合を目指す。</p> <p><b>初年度</b>：地域におけるプロパティマネジメントのあり方、住み手・借り手主導の時代の建築社会システムのあり方、および、東日本の震災被災地域の復興計画におけるプロパティマネジメントのあり方の検討を行う。</p> <p><b>2 年度</b>：震災被災地域における、住み手主導型の建築社会システムのあり方の検討、および、人口減少時代における、所有から利用による地域再生のあり方を提案する。</p>	
委員構成 (委員名 (所属))	委員公募の有無：無	
	主査：関栄二 (AGデザイン) 幹事：秋山哲一 (東洋大学工学部建築学科) 幹事：齊藤広子 (明海大学不動産学部不動産学科) 委員：安藤正雄 (千葉大学大学院工学研究科建築・都市科学専攻) 委員：田村誠邦 (アークブレイン・不動産鑑定士) 委員：中城康彦 (明海大学不動産学部不動産学科・不動産鑑定士) 委員：三橋博巳 (日本大学大学院理工学研究科不動産科学専攻) 委員：浦江真人 (東洋大学工学部建築学科) 委員：鈴木雅之 (千葉大学キャンパス整備企画室) 委員：藤本秀一 (建築研究所) 委員：橋本真一 (建設物価調査会総合研究所) 委員：森田芳朗 (東京工芸大学工学部)	
設置 WG (WG 名：目的)	超高層マンションに関するプロパティマネジメントWG 東日本大震災の際の超高層マンションの被害状況を明らかにし、今後予想される首都圏直下型地震発生時に超高層マンションが地域に果たせる役割などの検討を行う。	
2013 年度予算	50,000 円	ホームページ公開の有無：無 委員会 HP アドレス：無

項 目	自 己 評 価
委員会開催数	3 回 (年度内計画を含む)
刊行物 (シンポジウム資料等は 除く)	
講習会	
催し物 (シンポジウム・セミナー等) *能力開発支援事業委員会 承認企画	

<p>大会研究集会</p>	<p>1. 研究協議会（住宅ストック小委員会との共同開催） 参加者数 120名  マンション再生の可能性と限界  ー建築社会システムはどう再建すべきか？ー</p>
<p>対外的意見表明・パブリックコメント等</p>	
<p>目標の達成度  <small>（当初の活動計画と得られた成果との関係）</small></p>	<p>1. 東日本大震災の復興状況とその課題についてのレクチャーを受け（災害対応型建築社会システム特別委員会との合同開催）、その知識をもとに、現地視察を行い、PM委員会として、復興に関して提案すべきことの検討を実施した。  2. 大会にて研究業議会を開催し、区分所有によらない、利用の観点からのマンションの再生の可能性を検討した。  3. 被災地を視察し、利用権型の復旧の可能性について議論した。</p>
<p>委員会活動の問題点・課題</p>	<p>1. 昨年度に引き続き、今年度の活動も東日本大震災のテーマに偏ってしまったので、震災と並行して、地域のプロパティマネジメント等、当初予定していた研究もする必要がある。  2. メンバーが固定しているため、来年度の再編の際には、委員の増強を検討する必要がある。</p>